

令和8年度

公開講座

秋田県立大学

講座時間／90分

各回60名

知ればもっと面白い！

秋田の農業を支える最先端研究

入場無料

※要事前申し込み

秋田県立大学
本荘キャンパス
←会場はこちら

秋田県立大学
秋田キャンパス
会場はこちら→

令和8年

11月1日① 10:00開場／10:30～12:00

秋田県立大学 本荘キャンパス 共通施設棟 K321

長年の経験を誰もが学べる技術へ

AIの「目」で匠の技を未来へ

—画像処理とXRが拓く秋田のスマート農業

最新技術の
実演あり

システム科学技術学部 情報工学科

石井雅樹 教授

秋田県の基幹産業である「農業」、特に果樹栽培では、剪定や摘果などの作業が長年の経験による「暗黙知・定性評価」に依存しており、初心者が失敗を恐れずに技を学べる仕組み作りが必要です。本講演では、はじめに人間の知的活動を支援するコンピュータビジョン(画像処理技術)の基本をやさしく解説します。その上で、果樹の3次元モデルを用いた剪定技術のデータ・数値化や、スマートグラスで秋の収穫時の姿を疑似体験しながら摘果作業を学べるシステムなど、熟練者の「目」と「判断」をAIやXR(先端の映像技術)で可視化する最新の研究を紹介します。現場の知恵と先端技術が融合した秋田のスマート農業の未来についてじっくりとお話します。

令和8年

11月7日② 10:00開場／10:30～12:00

秋田県立大学 秋田キャンパス 共通施設棟 A212

おいしい果物を得るために、花のひみつに迫る

果樹の花をめぐる不思議な話

試食体験
あり

生物資源科学部 アグリビジネス学科

北本尚子 准教授

旬の美味しい果物を味わうには、「花」の管理が欠かせません。というのも、果実を美味しくするためには、余分な花を手で間引く作業が不可欠だからです。しかし、この作業は、農家さんの大きな負担となっています。

そこで私たちは、糖の一種「トレハロース」をブドウの芽に注射して花数を減らし、手入れを楽にする技術を明らかにしました。また、リンゴの皮がザラザラになる「サビ果」を防ぐため、花に含まれる原因物質を探る研究も行っています。

本講演では、美味しいブドウやリンゴを食べ比べながら「果物の花あてクイズ」に挑戦!果物の花に隠された不思議な科学の魅力を楽しくご紹介します。



潮風祭の
情報はこちら

松風祭の
情報はこちら



申込方法 ハガキ、WEBのいずれか

※会場内では、主催者や取材メディアによる写真や動画撮影、配信が行われる予定です。ライブ配信や公開講座終了後の広告物に使用することをあらかじめご了承ください。

ハガキ

「秋田県立大学公開講座参加申込」と氏名、年齢、住所、電話番号、メールアドレス、参加を希望する回を明記のうえ、〒010-0195 秋田市下新城中野字街道端西241-438 秋田県立大学 経営企画チーム 宛 に郵送ください。
※複数でご参加の場合は、全員の氏名、年齢、電話番号をご記入ください。

WEB

申込みフォームへ(<https://forms.gle/AqsxzXuobmCvNDUm8>)アクセス後、必要事項を入力して送信してください。
スマートフォン等からは、QRコードからアクセス後、必要事項を入力し送信してください。



※個人情報、公開講座の運営管理の目的にのみ利用させていただきます。